

第2学年 「社会」

1. 学習の目標

〔地理的分野〕

- (1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国土の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、わが国の国土に対する認識を養う。
- (2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとの関わりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連づけて考察し、地域的特色をとらえるための視点や方法を身に付けさせる。
- (3) 大小さまざまな地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察しそれらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
- (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

〔歴史的分野〕

- (1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解させ、それを通して我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊敬する態度を育てる。
- (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
- (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公平に判断するとともに適切に表現する態度を育てる。

2. 評価の観点・方法

- ① 社会的事象への関心・意欲・態度
「社会的事象に関心をもち、よりよい社会のあり方を考える。」 →

授業参加態度、授業道具や提出物、発表・発言
定期テスト、単元テスト、課題の提出など

- ② 社会的な思考・判断・表現
「社会的事象から課題を見だし、考察し、公正に判断する。」 →

発表・発言、提出物の内容、課題の内容、
定期テスト、単元テストなど

- ③ 社会的事象についての知識・技能
「各種の資料を効果的に活用し、その成果を適切に表現する。」 →
「社会的事象について理解し、知識を身に付けている。」

提出物・レポート・課題の内容やまとめ方、
定期テスト、単元テスト、発表・発言など

3. 学習のポイント

- ・教科書などの基本用語（太文字）は、覚える。
- ・他の人の発言や発表はしっかり聞き、班での話し合いや発表に積極的に取り組む。
- ・ノートには、板書を写して書くだけでなく、要点が分かりやすいように工夫し、自分の気づきや調べたことも記入するようにしておく。
- ・提出物の期限は守る。
- ・調べる時は、できるだけ多く資料を集め、その中から必要な部分だけを利用する。
- ・調べたことをまとめ、レポートにする時には、テーマの設定・利用した資料・分かったこと
- ・自分の考えを必ず入れる。また他の人が見て分かりやすいよう工夫する。
- ・教科書はよく読んで、書いてあることを理解する。
- ・教科書などで出てきた国名や地名は、必ず地図帳で確認する。
- ・教科書などで出てきた人名や文化財は、必ず資料集で確認する。
- ・新聞、テレビ、雑誌などの地理・歴史に関することがらに気をつけ、地理や歴史に関する興味や関心を高める努力をする。
- ・新聞やテレビなどのニュースに気をつけ、社会に関する関心や興味をもつように努力する。
- ・基本用語は、書きながら（漢字のものは、正しく漢字で書ける）覚える。

4. 学習内容と学習のねらい

| 学期 | 学習内容 | 学習のねらい |
|-----------------|---|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ○近世の日本 ・ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ・江戸幕府の成立と対外政策 ・産業の発達と幕府政治の動き | <ul style="list-style-type: none"> ○織田・豊臣および江戸幕府の統一事業を通し新しい安定した社会が生まれ、その時代が長く続いたという大きな時代の流れを理解する。 ○対外関係が活発な時期から外国との交渉が限定された時期へと移っていったことを理解する。 ○安定した社会がしだいに変化し、行き詰まっていく原因について、社会のしくみや経済の変化などから考える。 ○町人文化や地方の生活文化が形成されていった様子を、今日に残る文化財や資料などから把握し、文化財を尊重する態度を育てる。 |
| 学 期 | <ul style="list-style-type: none"> ○日本の地域的特色と地域区分 | <ul style="list-style-type: none"> ○世界的視野から見た日本の地域的特色や、日本全体の視野から見た国内の諸地域の特色を「自然環境」の観点から捉える活動を通して、日本の国土の特色を大観する。 ○世界的視野から見た日本の地域的特色や、日本全体の視野から見た国内の諸地域の特色を「自然環境」「人口」「資源・エネルギー」「交通・通信」の四つの観点から捉える活動を通して、日本の国土の特色を大観する。 ○四つの観点から、世界と日本、日本の国内の地域間を比較し関連づけて考察することで、日本の地域的特色を多面的・多角的に捉える視点や方法を身につける。 |
| 2 学 期 | <ul style="list-style-type: none"> ○日本の諸地域 ・九州地方 ・中国・四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方 ○身近な地域の調査 | <ul style="list-style-type: none"> ○九州地方の地域的特色について、環境問題や環境保全を産業や地域開発の動向、人々の生活などに関連づけて考察する。 ○中国・四国地方の地域的特色について、都市と農村の変化を人々の生活や産業などに関連づけて考察する。 ○近畿地方の地域的特色を、産業や文化の歴史的背景や開発の歴史に着目して、それを他地域との結び付きなどに関連づけて考察する。 ○中部地方の地域的特色について、東海、中央高地、北陸の各地域の違いを、自然的条件と社会的条件の両面から考察して捉える。 ○関東地方の地域的特色について、東京に日本を動かす中枢機能が集中していることに着目して、日本各地や世界との結び付きを捉える。 ○東北地方の地域的特色を、伝統的生活・文化や災害からの教訓を通し、自然環境や歴史的背景、他との交流などから多面的に考察する。 ○北海道地方の地域的特色を、自然環境の特色と関連づけて捉える。 ○縮尺の大きな地図や写真などを活用して土地利用、地形などを読み取り、身近な地域で見られるさまざまな地理的事象に気づく。 ○身近な地域に関する情報を収集し、それを基に調査テーマを設定する活動に意欲的に取り組ませるとともに、適切な調査テーマを設定できるようにする。 ○調査を通して、身近な地域の地域的特色を捉える視点や地域調査の方法、地理的なまとめ方や発表の方法を身につける。 ○身近な地域の特色を、地域の自然環境や他地域との結び付き、人々の営みとの関わりに着目して捉えさせるとともに、地域の課題を見だし、これからの発展について関心を持つ。 |
| 3 学 期 | <ul style="list-style-type: none"> ○開国と近代日本の歩み ・欧米の進出と日本の開国 ・明治維新 | <ul style="list-style-type: none"> ○欧米諸国のアジア進出を近代革命、産業革命、アジア諸国の動きなどを通して理解する。 ○開国から江戸幕府滅亡までの過程を、欧米諸国の動きと関連させて理解する。 ○開国の影響とその後の幕府政治の推移を多面的・多角的に考える。 ○明治新政府の諸改革の特色を考える。 ○明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ○立憲制国家が成立し日本の国際的地位が向上したことを理解する。 ○近代文化が形成されたことを、学問や科学の分野で国際的な業績が生まれたことから理解する。 |